



桑名市

かわむら ひでゆき
河村 英行さん

推薦者 河村あづみさん(妻)

育児対象 お子さん
(6歳)



推薦文:うちのパパは、子どもが生まれたときに2週間育児休暇をとってくれました！初めての子育て、昼に寝て夜起きるという生活リズムの息子に私は戸惑うことばかりでまいってしまいましたが、夜の弱い私の代わりに夜中に起きて息子を抱っこしてくれたり、泣き止まない息子をどのようにあやしたらよいか一緒に悩んだり、育児休暇中の2週間、とても濃い時間を過ごすことができ、夫の育児の理解も強まったように思います。

何より育児休暇をとってくれて良かったなと思うのは、育児休暇が終わったあとのパパの育児への考え方です。

2週間未知の生き物である赤ちゃんのみっちゃん一緒にいたことで、育児の大変さをとてもよく理解してくれて、仕事が忙しくても育児、家事を手伝ってくれたり、まだ話せない子どもと二人きりで過ごしているいろいろたまっている私の話を仕事が忙しくて帰るのが遅くてもずっと聞いてくれたり、育児に関わる時間は短くなくても、すごく理解してくれてるなど実感でき、とても頼りになりました。

そんなパパですが、最近は仕事がとても忙しく、平日は息子が起きている時間に帰ってくることがほとんどありません。仕事なのでしょうがないのですが、息子も少し寂しそうでした。このままではパパと息子の距離が開いてしまうという危機感を持ったパパが思いついたのが、少林寺拳法を家族3人で始めるということでした。息子はもちろんパパも全くの初心者です。パパの得意なことを息子に教えるというのも素敵だな、と思いますが、親子で新しいことを始め、成長していく、上から教えるのではなく、同じ目線から始め、大人だって何でもできるわけじゃないけど、努力して成長するんだよ、という姿を子どもに見せることは、とてもカッコいいなと思います。

息子とパパの距離もすっかり縮まり、週末にパパと息子が家でお互いに教えあいながら少林寺の練習をする姿を見るのが、今の私の一番の幸せな時間です。

審査員共感ポイント

- 2週間でも育児休暇を取ってくれたところがステキ。ママはその気遣いが欲しいんです。
- 夜が弱い妻の代わりに夜中に子どもをあやしてくれると、妻も精神的に安定する。
- 少林寺拳法を通じての、育児への思いや親子の絆を感じた。



四日市市

まきもと しげる
榎本 茂さん

推薦者 井上 誠二さん(大瀬古町子供と地域の環を育む会会長)

育児対象 地域の子ども達



活動: 日永1丁目 旧東海道交差点 子ども見守り活動

場所: 四日市市日永地区 日永1丁目 旧東海道交差点

主催: 大瀬古町子供と地域の環を育む会 榎本茂さん

推薦文:旧東海道交差点で、榎本さんは数十年間も毎日、登校日に子ども達の見守りを奥さんで行っていました。

平成24年1月に病で倒れ、近隣の方からは今度は年寄は見守られる方だと言われた事もあり、子ども見守り隊を一度辞めました。

平成25年4月から私(大瀬古町子供と地域の環を育む会会長の井上)が代行として、旧東海道の交差点に立つことになりましたが、引継期間として、榎本さんより1週間の立会をしていただくことになりました。

その後、榎本さんは体調も良くなり、子どもの笑顔が元気の源であるとして、継続して毎日子どもの見守りを行っています。

子ども見守り隊をやめると言う前から1年半が過ぎましたが、今も元気に毎日見守りを行っています。

毎朝元気に子ども達とあいさつを交わし、交通事故防止活動をしている姿には感謝しております。

地域の方々に子ども達は育てられていると思います。

審査員共感ポイント

- 十数年もご夫婦で子どもたちの見守りを行い、地域の中で子どもを育てていくという姿勢がとても良い。
- 続けることの大変さは、すごくわかる。その姿は、次世代につながっていくことを感じた。
- 今、登下校も心配な時代に、こういった地域の育児男子がいると安心できる。“ありがとう”の一言を伝えたい。